

しらかわチームオレンジで活動している皆さんを紹介します

Voice



認知症地域支援
推進員
十文字 香織さん

認知症は誰でもなる可能性があり、症状があっても認知症と診断をされていない方も少なくありません。認知症になっても、住み慣れた環境で、できる限りこれまで通りの生活が送れるようサポートしてくれる方を増やしていきたいです。地域の皆さんのご協力をお願いします。



認知症高齢者等
ボランティア
「あんしんメイト」

認知症サポーターの中で、ステップアップ講座受講者が、認知症コミュニティルーム「あったかカフェ」の運営を補助するとともに、施設や自宅へ訪問しての傾聴などを行っています。認知症があってもなくても一緒に楽しむことをモットーに活動しています。赤色のエプロンが目印です。



キャラバンメイト
藤田 恵さん(左)
相川 綾乃さん(右)

平成15年から認知症サポーター養成の講師を務め、年々地域の皆さんの認知症への関心の高まりと熱意を感じます。皆さんの生活がより良いものになるよう取り組んでいきます。(藤田)
誰かに寄り添い、寄り添ってもらえる社会を目指し、活動の輪を広げていきたいと思えます。(相川)



認知症初期集中
支援チーム
鈴木 まゆみさん

認知症は早期発見、早期治療が大切といわれています。早期に受診できるよう、地域包括支援センターや初期集中支援チームでは、本人や家族を支援する活動をしています。また、認知症やその対応について研修会を開催し、地域の専門職のスキルアップにつなげたいと考えています。



福島県認知症
介護指導者
石井 利幸さん

私は、医療・福祉の専門職や市民向けの講座などで講師を務めながら認知症の正しい理解や対応方法などを発信しています。認知症の方の暮らしは、専門職だけでは支えきれませんので、地域の皆さんの力が必要です。支援のネットワークを拡大していくため、ぜひ一緒に活動しましょう！



認知症の人と
家族の会

認知症と初めて向き合う家族の混乱や不安は、経験した人でなければわからないこともあります。「家族の会」は、悩んでいることを話して気を紛らわせたり、いろいろな介護・対応方法があることを知ることができる場です。頑張りすぎないけれどあきらめない介護と一緒に考えていきましょう。



キッズサポーター
竹井 美晴さん
(白三小6年)

小・中学生向けサポーター養成講座では、認知症があると過去のことが今のことになってしまうということや、新しく記憶したことを忘れてしまうということを知りました。実際に認知症の人がいて困っていたら、あせらずに冷静に考えて、その人に合わせて声をかけたいと思いました。



地域包括
支援センター

地域包括支援センターは地域で暮らす高齢者を介護・福祉・医療・保健などさまざまな面から支える「高齢者の相談窓口」です。認知症介護のアドバイスや医療機関への受診、地域のサポートを受ける方法など、できる限り自宅で生活ができるためのお手伝いをします。

今月は、認知症の方やその家族を地域住民が一体となって支えていく仕組み「しらかわチームオレンジ」を特集します。

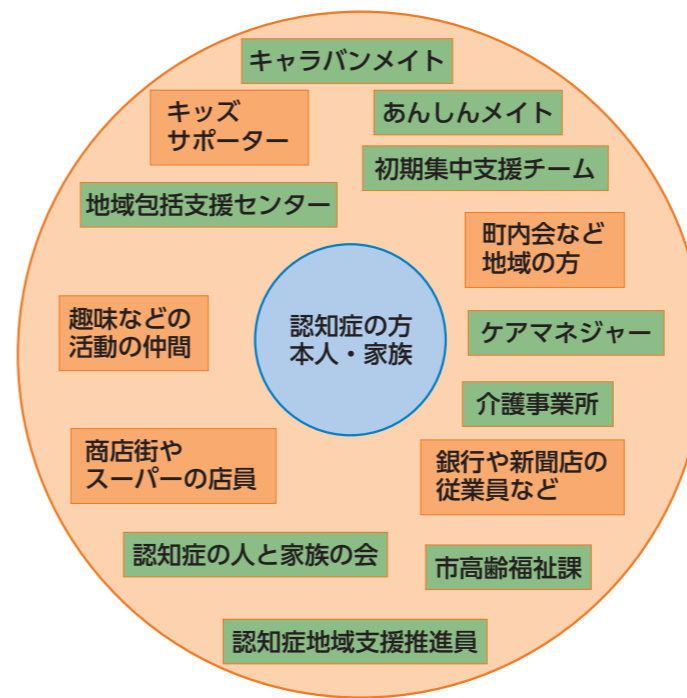
しらかわチームオレンジは、認知症になっても、これまでと変わらずに暮らしていけるよう、認知症の方や家族の声を聞き、その人らしく生活していくためのサポートを一緒に考える仲間であり応援者です。

市民の皆さんが、認知症を知り、理解することで、その輪を大きくしていくことができます。皆さんもチームオレンジの一員になりませんか？



▲オレンジリングは認知症サポーターの証です。

目指すチームオレンジの形



- キャラバンメイトなどの専門家や行政の支援のもと認知症サポーターの養成講座を開催する
- 町内会など地域の方、商店街の従業員やキッズサポーターなど、認知症の症状や対応の仕方を学んだサポーターが身近に増える
- 市民一人ひとりが少しの声かけや見守りをしてくれる（早期発見につながる）
《認知症の方への対応 3つの「ない」》
1.驚かせない
2.急がせない
3.自尊心を傷つけない
- 認知症になっても住み慣れた地域で生活し、その人がやりたいさまざまな活動に参加し続けることができる

本市の認知症に関する主な取り組み

《認知症サポーター養成講座》
市民が認知症の正しい知識や接し方を学び、自分ができる範囲で認知症の人や家族を手助けする「応援者」になるための講座を開催しています。

《認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク事業》
事前に登録した認知症の高齢者などが行方不明になった際、警察と連携し、地域の方や関係機関の協力を得て早期発見に努めます。

《認知症高齢者保険事業》
「SOSネットワーク」に登録した方が、誤って損害を与え賠償責任を負った場合に備える、個人賠償責任保険です。

《「認知症ケアパス」の配布》
認知症の発症により、生活に支障が出てくる中で、どのような医療・介護・福祉サービスが利用できるのかや相談先などをまとめた冊子を本庁・各庁舎等で配布しています。
なお、市ホームページでもご覧いただけます。



このほか市では、目指す「しらかわチームオレンジ」の形をつくるために、さまざまなことに取り組んでいます。詳しくは、本庁舎高齢福祉課にお問い合わせください。
本庁舎高齢福祉課 内2153・2154・2155